

『こもりびと』を語る

～テレビドラマ制作の背景～

2021年 3月 27日 (土)

13:30～16:30 (受付 13:00～)

(質疑応答の時間を設けます)

基調講演

講師 ジャーナリスト 池上 正樹 氏



昨年11月NHKで放映されましたドラマ「こもりびと」は、ひきこもりをテーマにした初めてのテレビドラマとして大きな反響を呼びました。
その制作の監修を務められた池上氏に完成までの過程および意図を語っていただきます。

対談

池上 正樹 氏 & 上田 理香 氏

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
本部事務局長



～家族会と行政の連携を求めて～

会場：あざれあ 静岡県男女共同参画センター

5階501会議室

(静岡市駿河区馬淵 1-17-1 JR 静岡駅から徒歩 10 分)

定員：50名 参加費：無料

<主催> NPO法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

KHJ 静岡県いっぷく会

ホームページ：<http://ippukukai.com>

<後援> 静岡県 静岡市 NHK静岡放送局 静岡新聞社・静岡放送

こもりびと ～あらすじ～

元教師の倉田一夫は地域から尊敬を集める存在であるが、彼には世間にひた隠しにする秘密があった。重度のストレスを抱えて働けなくなった息子の雅夫が10年以上にわたり自室にひきこもっているのだ。過去に何度も息子を立ち直らせようと試みたが、雅夫はひきこもりから抜け出すことが出来ず、現在では立ち直らせることを諦めてしまった。しかし、一夫は余命宣告を受けたことを契機に、最後にもう一度雅夫と向き合うことを決意する。一方の雅夫は閉ざされた自室の中で、人知れずひきこもりから抜け出そうとひとりもがき苦しんでいた。

講師プロフィール



池上 正樹 氏

ジャーナリスト。日本文藝家協会会員。KHJ 全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事。1997年から「ひきこもり」関係の取材を続けている。NHK「クローズアップ現代+」「あさイチ」をはじめ、テレビやラジオにも多数出演。著書は「ルポ「8050問題」高齢親子“ひきこもり死”の現場から」（河出書房新社）「ルポひきこもり未満～レールから外れた人たち」（集英社新書）「ひきこもる女性たち」（ベスト新書）「大人のひきこもり」（講談社現代新書）「あのとき、大川小学校で何が起きたのか」（青志社／共著）。地域や行政、介護職員向けに「ひきこもる人の心情」「8050問題への関わり方」などのテーマで講師も数多く務める。



上田 理香 氏

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会本部事務局長。家族支援士。KHJ 認定ピアサポーター。親子二重の社会的ひきこもりを経て、2012年よりKHJ 全国ひきこもり家族会連合会に従事。全国の家族会立ち上げ、相談会、研修会、居場所など、家族会における取り組みを支援する。各地の行政機関、家族会での学習会、講演会も多数。東京都ひきこもりに係る支援協議会委員

申込み書 事前のお申込みが必要です ハガキ、メール、FAXにてご連絡ください

お名前	(フリガナ)
お住い	静岡市 (葵区 駿河区 清水区) 静岡市以外 ()
連絡先	※新型コロナウイルスの状況により緊急連絡の必要が生じる場合がありますのでご記入ください
所属	会員 一般 行政 その他 ()

問合せ先

〒420-0071 静岡市葵区一番町50 静岡市番町市民活動センター
電話・FAX : 054-245-0766 (いっぱく会事務局 中津川)
メール : ippuku-kai@outlook.jp

***会場では新型コロナ対策を採らせて頂きます**